

平成28年度

小学生ツバメ国際キャンプ in 韓国の報告

今回で3回目となる「小学生ツバメ国際キャンプ」は、7月25日(月)から28日(木)に、韓国の慶尚南道昌寧郡のウポ沼で開催され、県内の5つの小学校から10人の小学生(5人の引率教諭と事務局員2人の17人)が参加しました。

台湾から11人、韓国から27人の小学生が参加し、関係者を含め総勢約80人が、野外でのツバメ調査や各国のツバメ調査の発表を行い、ツバメについての学習等を通して交流を深めました。

| 学校名 | 参加児童 | 引率 |
|------------|------------|------|
| 金沢市立泉小学校 | 木村 航・水野千絵 | 佐藤 哲 |
| 金沢市立不動寺小学校 | 田中美羽・保盛芽衣 | 筑波恵加 |
| 小松市立中海小学校 | 清水 凜・白石さくら | 角谷里美 |
| 加賀市立山代小学校 | 河原 京・北川晴花 | 勝木一弘 |
| 能登町立松波小学校 | 竹中 聡・大倉桃香 | 和嶋陽一 |

敬称略



| 日 | 行程 |
|----------|--|
| 7月24日(日) | 結団式・事前研修 (石川県青少年総合研修センター泊) |
| 7月25日(月) | 名古屋空港より釜山金海国際空港、その後昌寧郡ウポ沼へ ※28日までウポエコビレッジユースホステル泊 |
| 7月26日(火) | イバン市場周辺のツバメの巣調査、各国ツバメ調査の発表 |
| 7月27日(水) | 恐竜博覧会見学(固城郡)、環境体験学習(伝統船体験)、交流会 |
| 7月28日(木) | 金海市内見学後、釜山金海国際空港から名古屋空港へ |

■結団式・事前研修（7月24日）

24日の結団式では、10人の児童同士の交流、各自が作成したツバメ新聞の発表と韓国の生活マナー、韓国語・英語の学習を行いました。



上：結団式



右：韓国語の学習

■ツバメキャンプ1日目（7月26日）

☆ツバメ調査活動（午前）

昌寧郡のイバン市場で、韓国・台湾の子ども達と合同のツバメ調査を行い、現地の商店主の方に質問するなど、全員が熱心に調査に取り組みました。

石川県では珍しい「コシアカツバメ」の巣がたくさんあり、飛んでいる姿もたくさん見ることができ、営巣状況も確認できました。



地域の方にインタビュー中



イバン市場の巣の調査

☆ツバメ調査の発表（午後）

韓国8件、石川5件、台湾4件のツバメ調査の結果や感想の発表がありました。石川県の発表は、小学校単位で教諭1名児童2名がチームとなり、パワーポイントとツバメ新聞を基に、韓国語、中国語の翻訳を交えて約15分の発表をしました。

長時間におよぶ活動にもかかわらず、石川県の児童は、他児童の発表の内容等をしっかり聞き学習していました。



会場の様子



発表の様子

■ツバメキャンプ2日目（7月27日）

☆恐竜博覧会（固城郡）見学（午前）と環境体験学習（午後）

午前中に世界3大恐竜の足跡の化石地として知られる固城郡の恐竜博物館を見学し、午後にはウポ湿地で伝統船の乗船体験を行った。



集合写真



伝統船体験

☆交流会（夕食後）

3か国の児童が、歌や踊りを披露し交流しました。石川県の児童は、平成25年度に小松市立中海小学校が作成した「ツバメの歌」に振りをつけ、歌詞の一部を韓国語で歌いました。



ツバメの歌を歌う参加者



商店ののき先のツバメ